

# 子ども ファーム・ネット

たい けん て ちょう  
体験手帳

全国子どもファーム・ネット推進協議会 / 全国農業協同組合中央会

キャラクター / © おぐまこうじ

ようこそ、子どもファーム・ネットへ！

毎日食べているものが、  
どのように生まれてくるか  
きみは、知っているだろうか？

かぼちゃのつるが地面を這って  
ぐんぐんのびる

夏の夜のはたけのにぎわい。  
人知れず咲く、いねの白い花の美しさ。  
農家と別れる時、牛が流す涙を。

そんな不思議でいとおいしい、  
いのちたちとの出会い。

ようこそ、  
子どもファーム・ネットへ！

## 子どもファーム・ネット事務局

〒100-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル

でんわ：03-3296-8626 ファックス：03-3296-8929

Eメール：kodomofarm@kodomofarm.net

ホームページ <http://www.kodomofarm.net>

## ●こんなことに気をつけよう

- 刃物を使っている時や、火や熱湯の近くでは、ぜったいふざけないこと。
- 日ざしの強い日は、かならずぼうしをかぶり、水をじゅうぶんにとるように心がけよう。
- たき火、夜の活動、野山のものをもって食べる活動は、大人の人といっしょにやろう。



- 田んぼや畑で走り回って、農家の人が大事にしているうねやあぜをくずしたりしないこと。
- お世話になる人に、きちんとあいさつしよう。また、お世話になったあとで、お礼の手紙や感想文を送ろう。きっとよるこんでくれるよ。

## ●ふくそう

ぼうし

熱中症（ねっちゅうしょう）になるのでかならずかぶる。

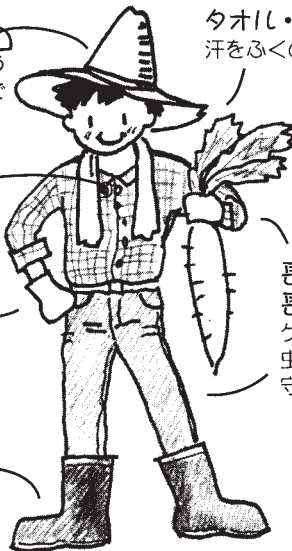
バッチ

くんで  
軍手

ケガをふせぐ。

長ぐつ

土の中に入るので、どろどろになるよ。



タオル・手ぬぐい  
汗をふくのべんり。

長そで  
長ズボン  
ケガ、かぶれ、虫から手足を守る。

べんり  
あると便利！



水とう  
ペットボトル  
あつい時は、水分を多めにとろう。



ビニールぶくろ  
種やとれた野菜などを入れる。



着がえ用シヤツ

1

子どもファームネット<sup>しょうぼう</sup>に情報を送って、  
みんなの活動を全国の仲間<sup>なかま</sup>に伝えよう！

ホームページに活動報告を送ろう <http://www.kodomofarm.net>

【こんな報告を送ってね！】

- グループの活動のようす。
- おもしろかった活動やイベントの内容。
- 紹介したいもの（できた野菜など）。
- \*記事はげんこう用紙1枚くらい、写真は5~6枚送ってね。

【事務局に送る方法】

- Eメールで送る／写真データも添付（てんぷ）してね。
- 手紙で活動報告と写真を送る。
- \*送り先は、下記の「子どもファーム・ネット全国事務局」まで。

「子どもファーム活動コンクール」に応募して、全国交流会に行こう！  
～かべ新聞の募集～

●作品の応募～第1次審査

みんなの活動を「かべ新聞」にまとめて、事務局まで送ってください。

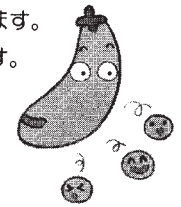
第1次審査で入選の約50グループが選ばれ、代表者が全国交流会に招待されます。

●全国交流会では、招待された入選グループのかべ新聞が展示されます。

●最終審査により、農林水産大臣賞などたくさんの賞が決められます。

【スケジュール、他】

- 作品の受け付けしめ切り／11月末日
- 全国交流会（予定）／2月5日土曜日 会場：東京
- 応募できるのは、登録したグループのみ。1グループ1作品です。
- 入選作品は作品集にまとめられ、あとで入選グループにプレゼントされます。



送り先 問い合わせは子どもファーム・ネット事務局まで  
〒174-0042 東京都板橋区東坂下 2-5-24  
家の光製本梱包(株) 子どもファーム・ネット係  
TEL: 03-5392-1156 FAX: 03-5392-1162



メールマガジンも活用してね！

登録のとき希望した人のアドレスには、情報メールが送られるよ。  
内容は、農業体験活動やかべ新聞づくりのヒントなど。

2

## おもしろテーマを考えて、活動記録をとろう！

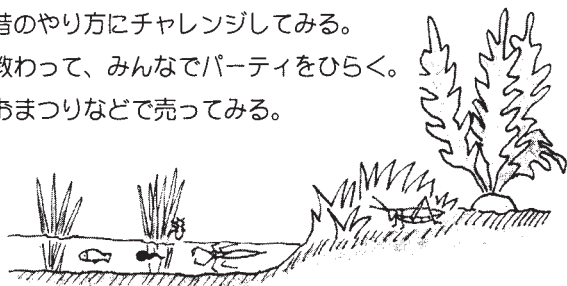
【自分たちがおもしろいと思うテーマで調べよう！】

ただふつうに米や野菜を育てるのではなく、ちょっとくふうして他の人がやらないようなことを考えて、その活動記録をとろう。

ひとりひとりがちがうテーマで記録をとるのもいい。記録の内容がとも豊かになるよ。

### ★おもしろテーマの例★

- ・昔は名物だったものが、めずらしいものなどを育ててみよう。
- ・田んぼや畑にいた生き物の種類をつづけて調べる。
- ・育てている農作物について、特徴や歴史や食べ方を調べる。
- ・地域のおじいさんなどに、米づくりなどの昔話を聞いてみる。  
そして、できれば昔のやり方にチャレンジしてみる。
- ・おいしい食べ方を教えて、みんなでパーティをひらく。
- ・つくったものを、おまつりなどで売ってみる。



### 【この手帳を活用しよう】

この手帳のノートのページに、毎回の活動の記録をとっておこう。

たくさんかきたい時は、見開きで2ページつかうといいよ。

たりなくなったらちがう紙をはさんでつかおう。

### ★こんなことをメモしておこう★

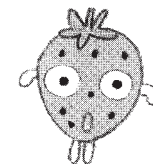
- ・やった作業の内容。作業や作物のようすのスケッチ。
- ・先生などに聞いたおもしろい話。調べたこと。
- ・終わったあとの感想。思ったことなんでも。



## かべ新聞のつくりかた

### 【つくり方のきまり】

- ・もぞう紙（市販の大）1枚でまとめる。（たてに使ってね）
- ・タイトル、グループ名を入れる。
- ・はりつけるものは、しっかりとはがれないようにはろう。
- ・字は、マジックなどではっきり書いてね。



### 【内容について】

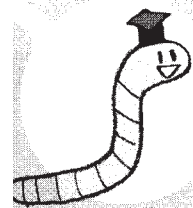
- ・活動の記録を見て、いつごろ何をやったのかがわかるようにまとめよう。それに  
つけかわえるように、くふうしたこと、気づいたこと、調べたことを入れよう。
- ・どんな作物ができたか、どうやって食べたか、思いきりじまみましょう。
- ・全国の人に見せるので、地域の特色や、楽しい仲間のような、地域の人とのつながりが感じられるようなものにしよう。

### 【楽しい作品をつくるコツ】

- ・文章での説明は短くして、絵や写真を使ってわかりやすく伝えよう。
- ・いい写真は、大きくコピーしてはろう！セリフを書き込んでもいいよ。
- ・色画用紙、クレヨン、マーカーなどの色を使って、カラフルにしよう。
- ・タイトルも、楽しいほうが目をひくよ。
- ・みんなの楽しそうな写真を入れてね！



自由に 考えようね！



ミミズ博士の土づくり講座 1

# いい土って、どんな土？

「やわらかく、水と空気をふくみ、栄養豊か」な土

監修・東京農業大学講師 木村正典

## ●農作物にとって、いい土の条件は？

やわらかくて根がはりやすく、水や空気をたくさんふくみ、栄養豊かなのがいい土の条件。農家の人は、昔からいっしょうけんめいたがやし、てまひまかけていい土をつくってきたんだよ。

## ●いい土は「食物連鎖」でつくれる

土に落ちた枯れ葉などの有機物をほくたちミミズなどの小動物が食べてフンを出す→そのフンや小動物の死がい（これも有機物）を微生物や細菌が食べ→分解されて有機物は無機物の栄養素になる→植物はこの栄養素を水とともに根で吸収する→植物が枯れるとそれをまたほくらが食べる。このくり返しを「食物連鎖」という。このように生き物たちの働きによって、やわらかく、水や空気をふくむ、栄養豊かな土がつけられるんだよ。



## ●いい土は、つぶつぶの「団粒構造」

やわらかく、水や空気をふくみ、栄養豊かな土は、土のつぶつぶがくっついた団粒構造になっているよ。土のつぶとつぶの間にすきまができてふかふかで、作物の根がのびやすく、水分と空気がほどよく保たれるなどのいいことがいっぱいある。

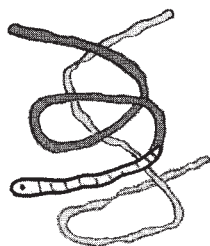
## ●土づくりに大活躍のミミズ

いい土をつくるために、じつは世界中でぼくたちミミズの仲間が大活躍しているってこと、みんな知っていたかな？

まず、ぼくらはトンネルをいっぱい掘って土をやわらかくする。そしてぼくらのフンは、つぶつぶねばねばで、土をお団子みたいにくっつけていくんだよ。フンの中の食べやすくなった有機物を微生物が食べて、栄養素いっぱいの土をつくるんだ。

### 【ミミズの働き】

土をたがやす



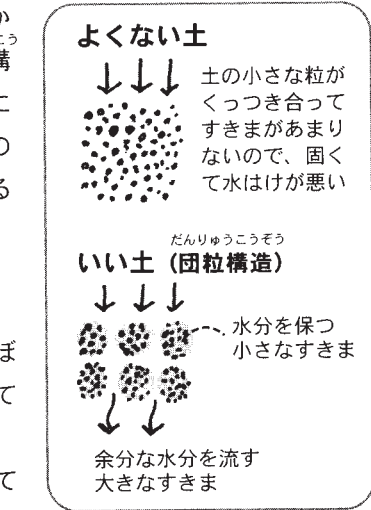
お団子状のフンを出す



土をつぶつぶにする

有機物を微生物が食べやすい形にする

作物の病気を防ぐ物質もあるよ



調べてみよう \*インターネットで「ミミズ」や「土づくり」を検索してみよう。  
\*おすすめの本 『ミミズと土』(ダーウィン著、渡辺弘之訳 平凡社)  
『ミミズと土と有機農業』(中村好男著、創森社)など

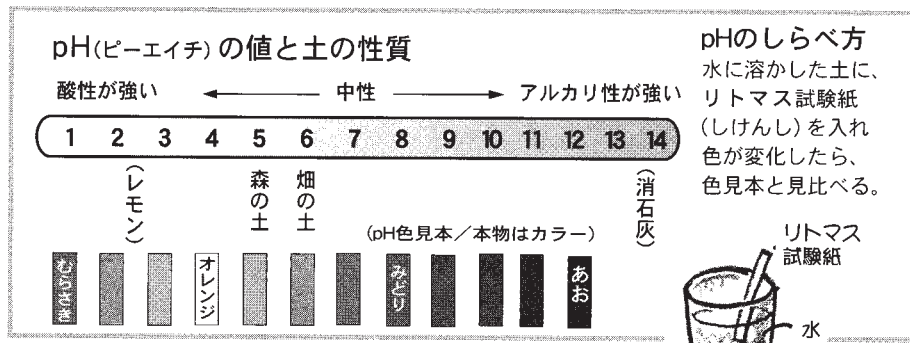
# ミミズ博士の土づくり講座 2

## 土づくりのポイント

「酸性の中和」と「肥料のやり方」が大事だよ!

### ●作物には、酸性の土に強いもの、弱いものがあるよ

土の性質のひとつに「酸性とアルカリ性」があって、農作物はやや酸性の土のほうが育ちやすい。酸の反対がアルカリなんだけど、アルカリ分は水に溶けやすいので、雨の多い日本では、土の酸性が少し強いところが多いんだ。だから、pH(ピーエイチ)の値をチェックして、もし酸性が強すぎようなら土に石灰をまいて酸性を弱めてあげるといいよ

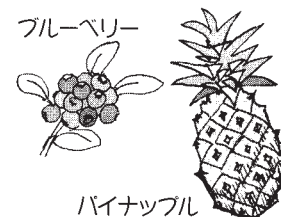


だいたい作物はpH6前後の「弱酸性」が好きだよ

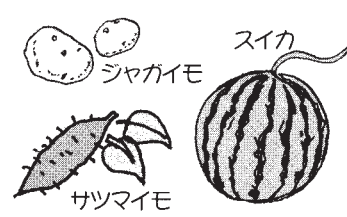
- ・ほとんどの作物はpH5.5~7(中性)なら問題ないよ。
- ・中でも酸性の好きな作物、きらいな作物がある。

#### 【酸性が好きな作物】

果樹 pH4~5がいい



野菜 pH5~6がいい



#### 【酸性がきらいな作物】

pH6.5~7.5でよく育つ



●「肥料」で土に栄養を加えてあげよう

植物が必要な栄養の三要素は、チッソ、リン酸、カリで、作物を育てるときは、それらを「肥料」という形で土に加えてあげるんだ。

肥料は、生物からつくる「有機質肥料」と鉱物などからつくる「無機質肥料＝化学肥料」

がある。

有機質肥料は、魚やナタネなどの植物の油カスを粉にした肥料と、落ち葉などを発酵させてより分解の進んだ「たい肥」とがあるよ。

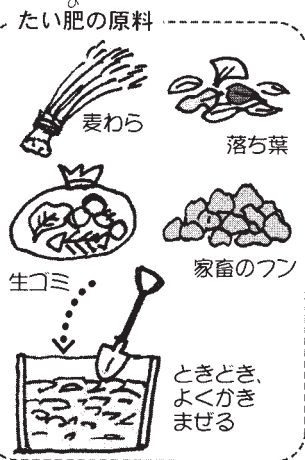
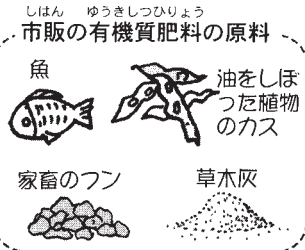
●「たい肥」は土を元気にする

枯れ葉や家畜のフンなどの有機物を発酵させてつくる「たい肥」は、小動物や微生物が増えやすいので土をふかふかにしたり、作物が病気になるにくいなどの利点があるよ。

でも発酵中のたい肥は、微生物が大発生して熱を出したり、作物の栄養をうばい枯らしてしまうこともあるので、できるだけ完全に熟したものを使おう。農家の人は、1年も2年もかけてたい肥をつくっているんだよ。

●肥料はじょうずに使おう

肥料はどんどん入れればいい、というものでもない。特にすぐ吸収されて便利だからと化学肥料をたくさん使いすぎると、成分が強すぎて作物が枯れたり、ミミズなどの生き物が減って土が固くなったり、川の水を汚したりすることもあるので気をつけよう。



かつどう きろく  
活動の記録(1)

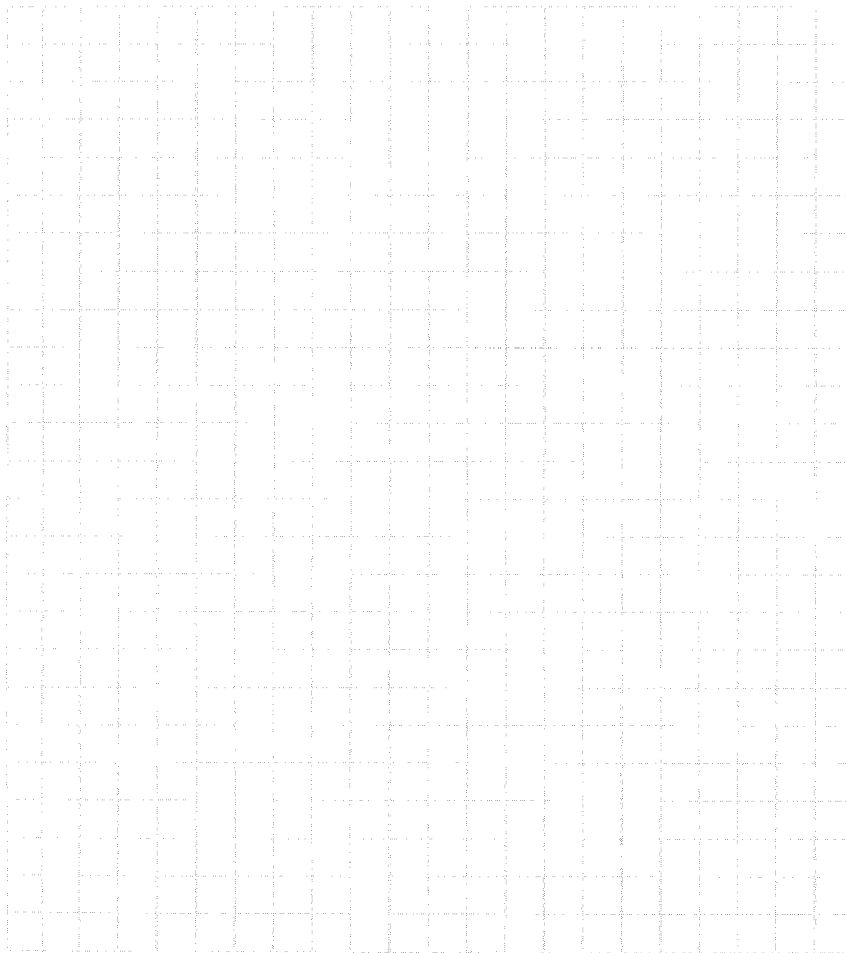
月	日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容			

Grid area for recording activity content.

かつどう きろく

活動の記録 (2)

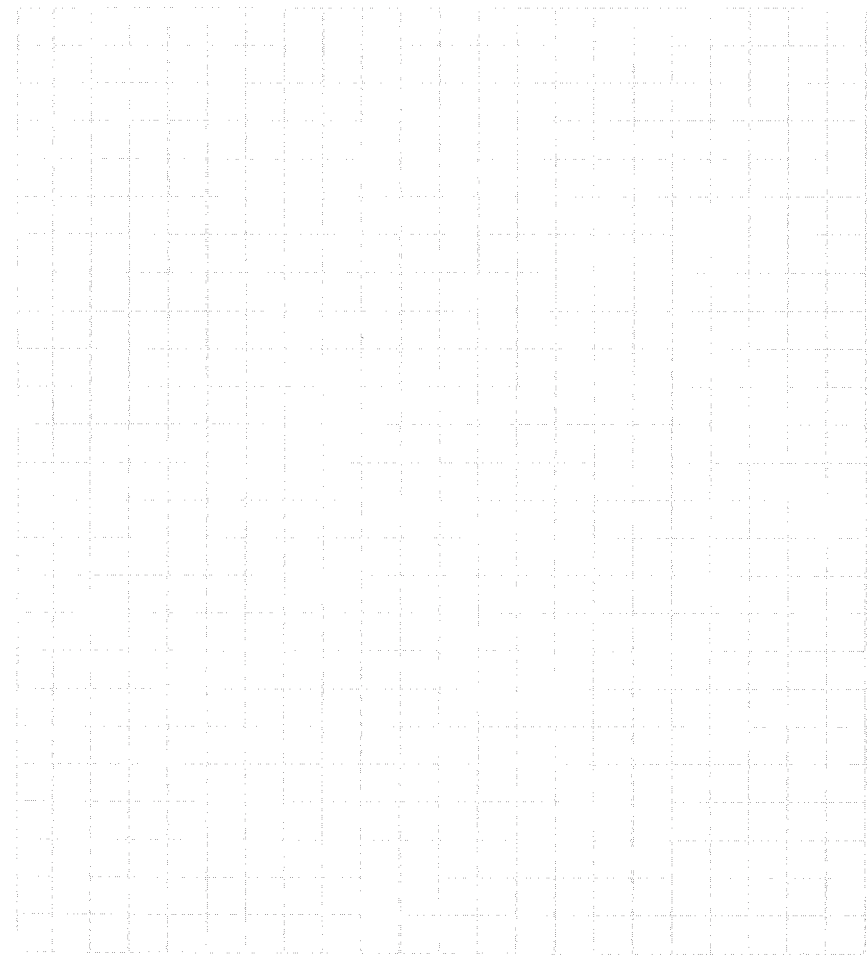
月 日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容		



かつどう きろく

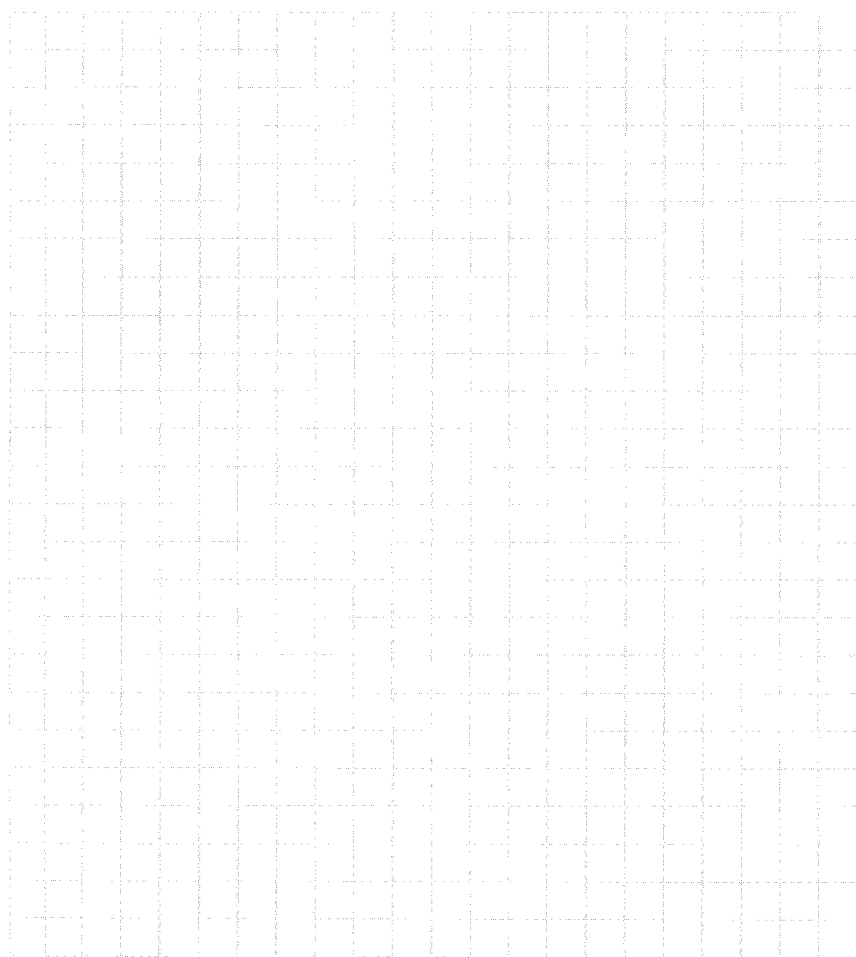
活動の記録 (3)

月 日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容		



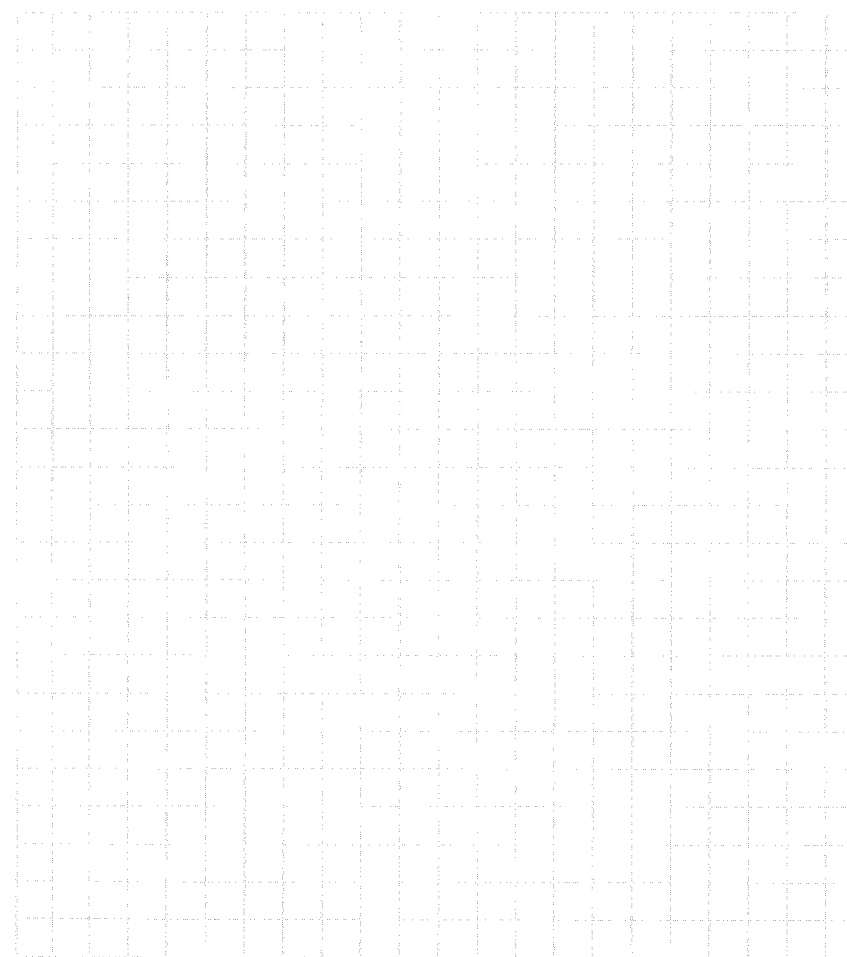
かつどう きろく  
活動の記録(4)

月	日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容			



かつどう きろく  
活動の記録(5)

月	日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容			

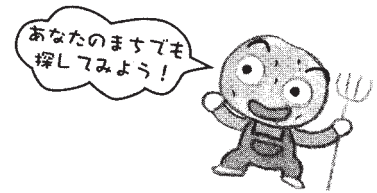


かつどう きろく  
活動の記録(6)

月	日	場所	天気
かつどうないよう 活動内容			

Grid area for recording activity details.

**農業体験の  
相談にのってくれるよ**



●=どのまちにもある組織

●市役所・役場の  
農業担当係

「農林課」「農務課」などのなまえの係。地域の農家などの紹介をしてくれたり、いろいろな資料を見せてくれたりします。

●JA (農業協同組合)

のうぎょうきょうどうくみあい

地域の農家が助け合うための組織です。農業関連の施設の見学、農地を借りる手伝い、農作物の育て方のアドバイスをしてくれます。

●農業高校、農業大学校

農業高校では、子どもたちが高校生に教わりながら農業体験ができる学校もあります。大学校は、ほとんどの都道府県にひとつづつあり、子どもの体験の受け入れや、先生にいろいろ教えてもらえるところもあります。

●農業試験場

しけんじょう

米、麦、野菜、果樹、花、畜産などに関する専門の研究者がいて、実験などをしています。見学したり、アドバイスを受けたりできます。

●農業改良普及センター

かいはりょうふきゅう

農業の専門家がいて、農業体験の相談にのってくれたり、受け入れ組織を紹介してくれるところもあります。

●農林水産省の  
地方農政局

のうりんすいさんしょう

全国に7ヶ所あり、農業体験施設の紹介や食べ物や農業に関する出前講座を行っています。



## お役立ちホームページ

### 農業・農村体験活動の情報を知りたいときは

子どもファーム・ネット

「グループ活動報告」「農業体験活動に役立つ情報」

<http://www.kodomofarm.net>

JA全中

「JAキッズ あぐり村」「バケツ稲づくりネットワーク」

<http://www.zenchu-ja.or.jp/>

JA全青協ホームページ

<http://www.ja-youth.jp/>

JA全国女性組織協議会

<http://www.ja-zenjokyo.jp/>

農林水産省「子どものための農業教室」

[http://www.ma.go.jp/j/agri\\_school/](http://www.ma.go.jp/j/agri_school/)

(社)全国農村青少年教育振興会「農業体験学習ネット」

<http://www.nou-taiken.net/>

(社)農村環境整備センター内「田んぼの学校」支援センター

<http://www.tanbonogakko.net/shien/index.html>

(社)中央酪農会議「酪農教育ファーム」

<http://www.dairy.co.jp/edf/>

(財)都市農産漁村交流活性化機構

<http://www.kouryu.or.jp/>

全国子ども会連合会

<http://koromo-kai.or.jp/>



### 食べもの、農業について知りたいときは

農林水産省「なぜ？なに？食育!!」

<http://www.ma.go.jp/j/syokuiku/index.html>

(社)家の光協会『ちやぐりん』

<http://www.ienohikari.net/chagurin/index.html>

(社)米穀安定供給確保支援機構情報部・米ネット

<http://www.komenet.jp/>

### 自然観察・体験、遊び場づくりについて知りたいときは

NPO法人自然体験活動推進協議会

<http://www.cone.jp/>

NPO法人日本冒険遊び場づくり協会

<http://jpa-japan.org/asobiba/index.php>

## 子どもファーム・ネット メンバーの証

子どもファーム・ネットは、子どもたちが、食べ物や生き物を育てることを通して、いのちの大切さを知ることや、まわりに人とつながっていくことを目的とする活動の全国ネットワークです。

この体験手帳の持ち主は「子どもファーム・ネット」のメンバーであり、農業・農村体験活動にいつしゅうけんめい取り組もうとしている者です。

地域の農業にかかわるみなさんは、どうか、この者の活動を応援し、協力してくださいませよう願います。

全国子どもファーム・ネット推進協議会  
運営委員長 今村 奈良臣



なまえ

グループ名

学校・学年

住所

全国子どもファーム・ネット推進協議会とは、子どもたちが主役の農業体験活動を応援し、子どもファーム・ネットを運営する団体です。